



# 第60期 報告書

平成25年1月1日から平成25年12月31日まで



## CONTENTS

P1～P2 株主の皆様へ

---

P3 販売品目

---

P4 連結財務諸表

---

P5 会社データ

---

P6 株式情報

---

清和中央ホールディングス

# 株主の皆様へ

存在感ある鉄鋼流通企業を目指し、さらなる企業価値の向上に努めます。



平成26年3月

代表取締役社長  
阪上 正章

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて、当社第60期（平成25年1月1日から平成25年12月31日まで）の決算が終了しましたので、その概況をとりまとめ、ここに「第60期報告書」をお届け申し上げます。

株主の皆様には、なお一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 当期の事業環境及び成果について

当連結会計年度におけるわが国経済は、日本銀行による金融政策や政府経済対策による公共投資の下支えに加え、年後半にかけて株高・円安の定着による景況感の改善を背景に個人消費の増加と企業部門の需要が持ち直し、緩やかながらも景気回復が続きました。世界経済においても、年前半は、新興国を中心に景気減速懸念があったものの、年後半には米国などの先進国経済の持ち直しが一段と明らかとなりました。

鉄鋼業界におきましては、住宅建築が高水準で継続し、非住宅建築でも回復はめざましく、補正予算執行に伴う災害復旧、災害防止などの公共土木工事の発注本格化に加え、太陽光発電を中心とする再生可能エネルギー関連需要等により、一昨年から回復基調にあった建設需要が大幅に増加しました。また、製造業向け需要でも、自動車向けは堅調な国内販売と好調な対米輸出による国内生産が回復し、造船も懸念されたほどの減少はなく、建機向けをはじめその他の業種でも幾分かの改善傾向が見られ出し、国内鉄鋼需要全体では、特に、年後半にかけて大幅な増加となりました。

このような経営環境下において、当社グループは、仕入面においては在庫の適正化に注力し、販売面においては販売量の確保と販売価格の設定に重点を置き、きめ細かく営業活動を展開してまいりました結果、当連結会計年度の売上高は、448億87百万円(前年同期比10.2%増)、営業利益は8億77百万円(前年同期比226.7%増)、経常利益は9億50百万円(前年同期比208.5%増)、法人税等を差引いた当期純利益は、8億82百万円(前年同期比362.0%増)の増収増益となりました。

## 今後の課題について

今後のわが国経済の見通しは、輸出が持ち直しに向かい、各種政策効果の下支えによる家計所得や企業投資が増加することを背景に、景気の回復基調が続くことが期待される中、消費税率引上げに伴う駆け込み需要およびその反動も見込まれます。また、海外景気の下振れ懸念は、わが国の景気を下押しするリスクとなっております。

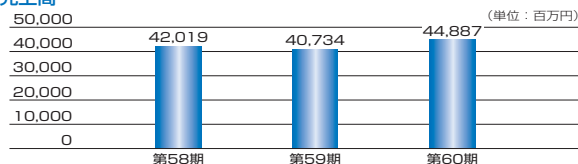
鉄鋼業界におきましては、消費税率引上げによる住宅建築、自動車販売などに反動減の懸念があるものの、非住宅建築、公共土木案件などは昨年並みが予想されるほか、設備投資の回復、堅調な個人消費、昨年来の円安効果による海外景況観の改善による輸出増の効果などから、その他の製造業向け鉄鋼需要についても昨年を上回ることが期待でき、さらに、再生可能エネルギー関連も堅調維持が見込まれ、年間でも昨年並みの内需が期待されます。一方、鋼材価格については、昨年高騰しすぎたスクラップ価格の動向や鉄鉱石、石炭の資源価格の下振れリスクに伴う価格調整の懸念があります。

当社グループといたしましては、かかる環境に対応すべくさらに経営基盤を強化し、存在感ある企業を目指します。

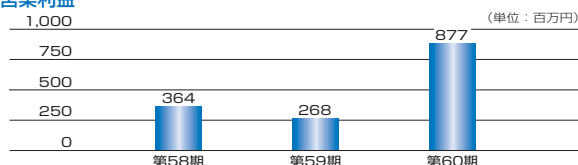
- ① 為替動向に留意し、国際化した鉄鋼市況の変動に素早く対応すべく、短期対応でのきめ細かい在庫調整に努めます。
- ② 取引先のニーズを的確に把握して、「必要なときに」「必要なものを」「必要な量だけ」を迅速かつ確実に提供できるきめ細かい営業体制を一層充実し、既存取引先におけるシェアアップ、新規取引先の拡大を図ります。
- ③ 運賃・荷役費用等の合理化を推進し、一層のコスト削減を図ります。
- ④ 与信管理を徹底し、不良債権の発生を未然に防止するように努めます。
- ⑤ 企業の成長維持のために、次世代を担う人材の育成に力を入れ、戦力強化に努めます。

## 連結財務ハイライト

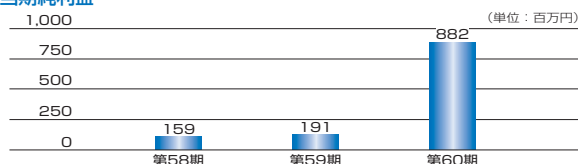
### ●売上高



### ●営業利益



### ●当期純利益



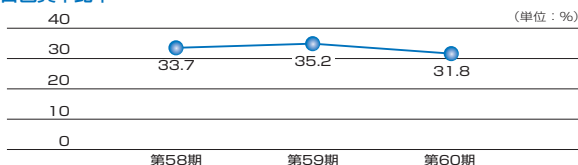
### ●1株当たり当期純利益



### ●1株当たり純資産額



### ●自己資本比率



### 各種鋼材の供給から多種多彩な加工まで



H形鋼



カラーC形鋼



鋼板



コラム



平鋼



軽量H形鋼



異形棒鋼



構造用鋼



特殊鋼



山形鋼



溝形鋼



レール



溶断



開先機



切断機

### 鉄鋼製品

H形鋼	H形鋼 外法一定H形鋼 極厚H形鋼 ビルドH形鋼
一般形鋼	等辺山形鋼 不等辺山形鋼 溝形鋼 I形鋼 レール
平・角鋼	平鋼 ワイドフラット カバープレート 角鋼
鋼板	薄板 中板 厚板 高張力鋼板 冷延鋼板 表面処理鋼板 亜鉛鋼板 縞鋼板 酸洗鋼板 SC鋼板 エキスパンドメタル パンチングメタル アルミニウム
軽量形鋼	C形鋼 (カラー・メッキ・黒皮) DP・KP (カラー・メッキ・黒皮) 合成床板 軽量H形鋼 軽量溝形鋼
鋼管	コラム 丸パイプ 角パイプ (カラー・メッキ・黒皮)
鉄筋	異形棒鋼 伸鉄丸鋼
構造用鋼	普通鋼 特殊鋼 (SC・SCM) 非調質強靱鋼 CH材 磨棒鋼 (丸・平・角) パーインコイル
ステンレス	鋼板 丸鋼 平鋼 形鋼 パイプ

### 加工

H形鋼寸法切り コラム寸法切り 開先加工 構造用丸鋼寸法切り 曲げ加工 メッキ加工 切板 鍛造 機械加工 製缶加工  
プラント製造 鉄骨梁加工 その他

### 工事関係

鉄骨工事 鉄筋工事 ALC工事 建築工事全般

# 連結財務諸表

## Consolidated Financial Statements

### 〔連結貸借対照表〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 平成24年12月31日現在	当期 平成25年12月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	18,236	23,252
固定資産	8,173	9,205
有形固定資産	6,726	7,433
無形固定資産	74	108
投資その他の資産	1,372	1,663
資産合計	26,409	32,458
<b>負債の部</b>		
流動負債	15,171	19,741
固定負債	1,794	2,204
負債合計	16,965	21,945
<b>純資産の部</b>		
株主資本	8,997	9,841
資本金	735	735
資本剰余金	601	601
利益剰余金	7,685	8,528
自己株式	△25	△25
その他の包括利益累計額	287	490
その他有価証券評価差額金	287	490
少数株主持分	159	180
純資産合計	9,443	10,512
負債及び純資産合計	26,409	32,458

### 〔連結損益計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (平成24年1月1日から 平成24年12月31日まで)	当期 (平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで)
売上高	40,734	44,887
売上原価	37,265	40,578
売上総利益	3,469	4,308
販売費及び一般管理費	3,200	3,430
営業利益	268	877
営業外収益	125	118
営業外費用	85	45
経常利益	308	950
特別利益	20	107
税金等調整前当期純利益	328	1,057
法人税、住民税及び事業税	169	69
法人税等調整額	△39	83
少数株主損益調整前当期純利益	198	904
少数株主利益	7	21
当期純利益	191	882

### 〔連結キャッシュ・フロー計算書〕

科目	(単位:百万円)	
	前期 (平成24年1月1日から 平成24年12月31日まで)	当期 (平成25年1月1日から 平成25年12月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	399	△146
投資活動によるキャッシュ・フロー	30	△805
財務活動によるキャッシュ・フロー	△440	1,182
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△10	230
現金及び現金同等物の期首残高	952	942
現金及び現金同等物の期末残高	942	1,172

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

2. 当期より不動産賃貸に関する表示方法の変更を実施したため、前期につきましては、当該表示方法の変更を反映した遡及修正後の数値を記載しております。

### 【会社概要】 (平成25年12月31日現在)

商号	清和中央ホールディングス株式会社
本社	大阪市西区九条南三丁目1番20号
設立	昭和29年3月
資本金	7億3,580万円
従業員数	11名 (連結従業員数：186名)
主要な事業内容	当社グループは、当社および子会社6社で構成され、鋼材の卸売を主な事業内容としており、当事業に関連する加工、請負工事、荷役業務、さらに不動産賃貸事業も行っております。

### 【役員】 (平成25年12月31日現在)

代表取締役社長	阪上正章
常務取締役	阪上恵昭 管理本部長
取締役	西本雅昭 管理本部副本部長
取締役	後藤信三
常勤監査役	上山公
監査役	杉本武 税理士
監査役	八木千之

- (注) 1. 監査役上山 公、杉本 武の両氏は、社外監査役であります。  
 2. 監査役上山 公氏は、東京証券取引所が指定を義務付ける一般株主と利益相反が生じるおそれのない独立役員であります。  
 3. 監査役杉本 武氏は、税理士の資格を有しており、財務および会計に関する相当程度の知見を有しております。

### 【清和中央ホールディングス組織図】



#### ■ 連結子会社

清和鋼業株式会社	〒550-0025 大阪市西区九条南3-1-20	TEL：06-6581-2131
中央鋼材株式会社	〒279-0012 千葉県浦安市入船1-5-2 NBF新浦安タワー 6階	TEL：047-709-4300
大宝鋼材株式会社	〒550-0025 大阪市西区九条南3-28-23	TEL：06-6581-2205
清和サービス株式会社	〒590-0901 堺市堺区築港八幡町1-29	TEL：072-232-7300

#### ■ 非連結子会社

サンワ鋼材株式会社	〒306-0204 茨城県古河市下大野2000	TEL：0280-92-2111
北進鋼材株式会社	〒131-0041 東京都墨田区八広2-53-6	TEL：03-3611-7161

### 【 株 式 情 報 】 (平成25年12月31日現在)

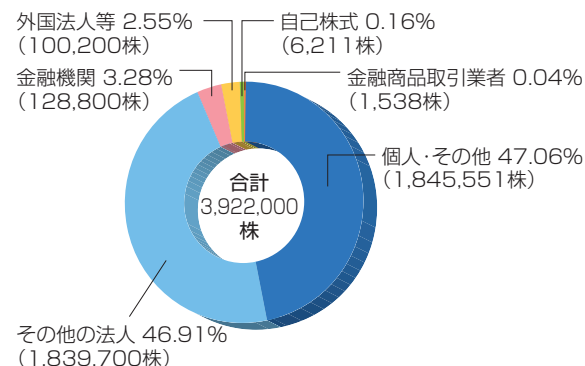
- 1) 発行可能株式総数 12,000,000株
- 2) 発行済株式の総数 3,922,000株
- 3) 株主数 271名
- 4) 大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数	持株比率
株式会社ワイエムピー	530,500 株	13.55 %
エスケー興産株式会社	495,800	12.66
阪上 正章	440,280	11.24
阪上 恵昭	281,500	7.19
阪上 寿美子	248,600	6.35
新日本工機株式会社	126,800	3.24
山口 久一	122,000	3.12
加藤 匡子	115,700	2.95
小田 宏雄	104,300	2.66
山口興産株式会社	100,300	2.56

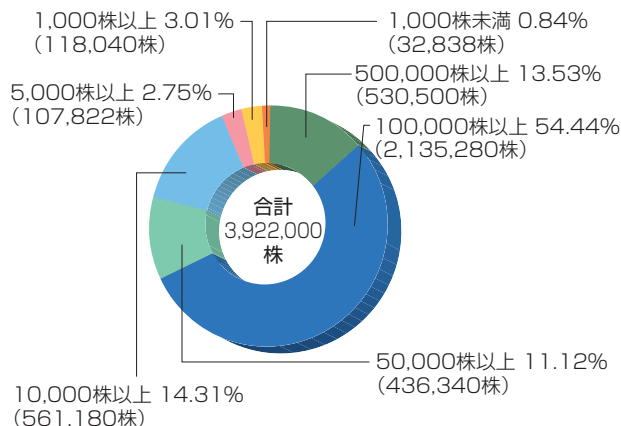
(注) 持株比率は自己株式 (6,211株) を控除して計算しております。

### 【 株 式 分 布 状 況 】 (平成25年12月31日現在)

#### ■ 所有者別株式分布状況



#### ■ 所有株式数別株式分布状況





# 株主メモ

## 事業年度

毎年1月1日から12月31日まで

## 期末配当金受領株主確定日

毎年12月31日

## 中間配当金受領株主確定日

毎年6月30日（中間配当を実施する場合）

## 定時株主総会

毎年3月

## 株主名簿管理人

### 特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

## 連絡先

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
TEL 0120-094-777（通話料無料）

## 上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ（スタンダード）

## 公告の方法

### 電子公告

公告掲載URL <http://www.seiwa-chuo-holdings.co.jp>

（ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。）

## （ご注意）

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店にてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でのお支払いいたします。

## ホームページのご案内

### トップページ



### IR情報

